



幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオンニュースレター

WILDERNESS

〒300-3253茨城県つくば市大曾根3765-4 029-895-3775 info@yoshonencamp.com www.yoshonencamp.com

FEA
TURE

今の特集

〇月例会報告

〇研修会（バックカントリー） 参加者募集!!

〇今月のキャンプと私は『ふゆりん』です。

FORE
WORD

世界のキャンプとつながろう!!

花山キャンプの特徴といえばみなさん何を思い浮かべますか？冒険登山、沢登り、原始的なテント生活、環境配慮、集団生活……。実は、すべてのキャンプが花山みたいなキャンプとは限りません。宿舎に泊まって三食でてるのもキャンプだし、学校みたいに授業があるキャンプだってあります。

いろいろなキャンプ、いろいろなキャンプ団体がある中で、いちばん花山キャンプがめざそうとしているところに近いのが Wilderness Education Association、通称 WEA という団体です。このニュースレターのタイトルにもなっていますが、Wilderness とは、原生自然、手つかずの自然という意味です。みんなを育てた花山や栗駒の自然は、まさに Wilderness だね。

そんな WEA が、この夏日本で指導者養成の講習会を開催することとなり、幼少年キャンプ研究会としても、運営をお手伝いすることとなりました。対象者は1) みんなのようなこれからキャンプ指導者めざす学生・若者、2) バックカントリーに入ることがなくキャンプ場内で主にしている組織キャンプの指導、3) 登山指導はプロ中のプロだけどその教育効果なんてあまり考えたことのない登山ガイドの人たちです。みんなキャンプや山の素晴らしさを知っている人たちなので、情報をわかち合い、切磋琢磨できればいいですね。

場所は、たくさんの登山ガイドや自然学校のある長野で開催予定です。日程は現在調整中で7月2日～6日の2泊3日か3泊4日です。講師は、WEA の歴代会長を務めた、クリス・キャッセル（オクラホマ大学）、マーク、ワグスタッフ（ラドフォード大学）をはじめ、アメリカでは超有名人ばかり。そして講義はすべてイングリッシュ。

まだ大学があるし、平日なので授業もあると思いますが、一生の宝になるすばらしい体験ができますので、スケジュールにメモっておきましょう。

REPORTS

〇月例会

2月月例会

2012年2月19日(日)、幼少年キャンプ研究会事務局にて2月の月例会が行われました。2月のテーマは『スキー事故事例から学ぶリスクマネジメント』。参加者は佐藤、大野、岡村、梶田の4人と少ない人数になってしまいましたが、スキー事故の現状と事例に関する発表や、シナリオトレーニングを通して、引率者(指導者)としてスキーをすることへの責任感と、リスクマネジメントの重要性を感じた月例会となりました。

スキー安全対策協議会が定めた国内スキー等安全基準の第3章に、引率者についての記述があることをまずは確認しました。3-4(救護)には「引率者は、引率される人に事故が起こったときはみずから救助し、必要な時は、出来るだけ早く他に援助を求めます」とあります。つまり、つまごいスキーキャンプなどでキャンパーを引率する立場となる私たちは、みずから救助すること、必要な時は他に援助を求めることが求められているのです。

次に、スライドを用いてスキー場で起こっている事故の数や、事故の多い時間帯、天候、怪我の種類などを確認し、事故の現状の把握と原因の考察を行いました。

そして、そういった事故を防ぐにはどうすればいいのか、リスクマネジメントはどういった部分のリスクを取り除けばいいのか、などを確認しました。

その後、基本的な応急処置について確認し、シナリオトレーニングに移りました。ゲレンデにて右足首骨折や、野地平にて裂傷など、様々な状況を想定し、順にそれに対する対応を経験しました。訓練でもあわててしまい、基本を忘れてしまう人、他のキャンパー役の人を放置してしまう人もいれば、冷静に対応する人も。やはり、経験の差が出たシナリオトレーニングとなりました。日頃からの訓練の重要性を感じた月例会となりました。

(ふゆりん)



3 月月例会

中止になりました。

4 月月例会

2012年4月15日(日)10時より、4月月例会が開催され、佐藤(ふゆりん)、篠崎(シノケン)、小松(つん)、小久保(みーお)が参加しました。

今月は「ASEの指導とその観点」。まずはASEを指導する上で知っておくと損はしない、色々な理論を紹介。体験から学びを得る過程を示す体験学習サイクルの理論や、リーダーシップのタイプを表すPM機能について、グループの状態を表すグループダイナミクスの考え方、グループの状況に合わせたリーダーシップ型を示すSL理論などを紹介しました。

その後、まずは指導の人の前に立って指導する経験を、ということで、順番にアイスブレイキングの指導を行いました。グループのメンバーを、動物に例えると？や、どの季節が好きそうか？などの質問に答えていくアイスブレイキングや、誕生日順や名前順に順番を並び替えるラインナップなどが出てきました。

そして、外に出てASEの体験&観察を行いました。実際に体験する人と、その様子を観察してグループの評価を行う人に分かれ、グループの変化を追っていきました。まず動き出し、そして解決方法が分からず停滞するも、徐々にアイデアを出し合っ方針を決め、実行に移す、という流れができ、前半に学んだことがよく見える実践になりました。

ASEは実際に指導する機会も多い内容なので、ぜひ、またASEを取り上げて、今度は大人数でアクティビティにチャレンジしたいと思いました。(ふゆりん)

<月例会・研修合宿の予定>**・月例会****・5 月月例会**

「キャンプの研究?—どんな研究されてるの?」

日程：5月13日(日)13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

「研究」と聞くと難しい内容を想像してしまいますが、この月例会では、野外運動や野外教育に関する研究として、どのようなことがなされているのか、今現在までにどんなことが分かっているのか…など、分かり易いところから学びたいと思います。そして、その結果はどう現場に生かされるべきか、生かすにはどうすべきかなど、参加者同士の意見をぶつけ合いたいと思っています。CUのみなさんも、キャンプ研究者への第一歩を踏み出しませんか?

・6 月月例会

「ファシリテーション」

日程：6月24日(日)13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

キャンプの指導をしていると、ファシリテーターとして参加者の意見を引き出したり、流れを整理したりする機会が多くあります。しかし、突然そのような立場になっても、どう関わればいいのか、戸惑ってしまいます。そこで、6月の月例会では、ファシリテーションとは何か、どういった手法があるのかなどを学び、そして実践してみたいと思います。場面に合った方法を使いこなせるリーダーになるために、みんなで学びましょう!

・7 月月例会

「キャンプを取り巻く行政事情

—議員さんと大討論会—」(予定)

日程：7月22日(日)13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

・研修合宿

参加者募集!!

第3回研修合宿

壮大な景色に囲まれた富山県立山にて、バックカントリー&雪上キャンプを行う合宿。

日程：2012年4月28日(土)~30日(月)

集合場所：立山駅(富山地方鉄道、立山ケーブルカー停車駅)

※つくばからの参加者はまとまって移動する予定です。

活動場所：富山県立山連峰周辺(室堂周辺)

対象：CU会員、または会の趣旨に賛同する者

参加費：15,000円(移動費・食費・保険代等)

※立山駅までの交通費別

申し込み方法：4/22締切

① 佐藤(080-1211-8971)まで申し込み

② 以下のURLから参加申し込み

<http://kokucheese.com/event/index/34488/>

ユーザー名：fuyurin.sato@gmail.com

パスワード：hanayama

第4回研修合宿

夏はキャンパー達でにぎわう花山キャンプ場。春は様々な生き物がひっそりと、そして力強くうごきはじめています。栗駒山でのバックカントリーで最後の冬を感じ、山菜狩りで山の恵みを満喫しませんか?

日程：2012年5月4日(金)~6日(日)

集合場所：東北新幹線くりこま高原駅

※つくばからはまとまって移動する予定です。

活動場所：花山キャンプ場、栗駒山周辺

対象：CU会員、または会の趣旨に賛同する者

参加費：3,000円(食費・保険代等)

※くりこま高原までの交通費別

申し込み方法：4/26締切

① 篠崎(090-2306-4087)まで申し込み

② 以下のURLから参加申し込み

<http://kokucheese.com/event/index/34500/>

ユーザー名：ken19890601@hotmail.co.jp

パスワード：hanayama

キャンプと私



以上、知らない世界を体験し、興奮しっぱなしのよ
っちんでした。(よっちゃん)

こんにちは、佐藤冬果(ふゆりん)です。新学期が始まり、皆それぞれが、何かしら新しい環境に飛び込んでいる事と思います。



私もこの4月から、筑波大学の大学院に進学しました。今までは生物資源学類という所で生態学を専攻してきましたが、この4月からは体育学、野外運動の専攻です。

キャンプに初めて触れたのは小学校2年生のときでした。花山キャンプに参加したのが初めてのきっかけです。14年が経過した今でも、その時のことを覚えています。「うなぎいぬ」というカウンセラーのことを、何と呼べばいいのかわからなかった戸惑いや、初めて出会う子たちと馴染むまでの何とも言えない不安感、花山から帰って両親に会った時の照れくささ。そんな初めてのキャンプが今の私をつくるきっかけになったと思っています。

今までのキャンパー生活やスタッフとしての生活でキャンプから本当に色々なことを教えて貰ってきたと思っています。今度は、それを幼少研やキャンプ全体に恩返ししたい気持ちです。それはつまり、今、キャンプに来てくれている子たちに素敵な体験をしてもらうことができるスタッフになることだと思っています。今はまだ何もできていないですが、みなさんと一緒に成長していきたいので、今後ともよろしくお願いします。

生物資源学類から“体育”という全く違う世界に飛び込んで行ったふゆりんにとって、慣れないこともあると思います。しかし、ふゆりんは頑張り屋さんであり、野外への気持ちは人一倍強いと思います。ふゆりんの個性を活かして今後の野外を盛り上げていってほしいですね。皆さんもそんなCU代表、ふゆりんをサポートし、一緒に盛り上げていきましょう。(By よっちゃん)

スキーシーズンも終わりに近づいています。皆さん、今年はたくさん滑られましたか？私は、試験勉強のため今シーズンは一度しか滑ることができませんでした(涙)今はとってもスキー場が恋しいです…。さて、そんなことを言っている私ですが、3月をもって大学を卒業ということもあり、勉強の合間をぬって「異国」へと旅してきました。(笑)海外旅行と言えば小さい頃にハワイに行った記憶だけだった私にとって、ほぼ初めての海外体験です。そんな“ほぼ初体験”の感想を一言で表すと「私の知らない世界がたくさんある！！」です。CU会員の一人であるにくまんも最近、オーストリアのインスブルックに仕事で行ったようですが、スキー場が日本と比べものにならないくらい大きい！！と言っていました。皆さんはそんな大きいスキー場が想像できますか？私は・・・未だ想像できません。なので、いつか必ずその大迫力のスキー場に行ってみたいと思っています。もし、行ったことのある方がいましたら、お話を聞かせて下さい！！

FROM
THE
EDITOR